

THE すまいの保険 (個人用火災総合保険) お見積書

<<<PD>>>

見積書番号 0000334
作成日: 令和 4 年 9 月 2 日

基情報	〈保険始期〉 令和 4 年 9 月 2 日	〈物件情報〉 専用住宅	〈構造級別〉 H構造
本報	〈所在地〉 東京都		〈職作業名〉 センゾウ ユウク
評価情報	〈建物情報〉	〈延床面積〉 74.520㎡	
価報	〈建築年月〉 令和 4 年 8 月	※評価額の基準日は保険期間の始期日となります。	〈専(占)有面積〉 74.520㎡

プラン		プランA		プランB				
評価／保険金額／保険料	保険期間 [基本／地震]		10年間 / 始期から5年		10年間			
	建物	評価・支払基準	新価・実損払 (評価済)		新価・実損払 (評価済)			
		協定再調達価額	13,000 千円		13,000 千円		千円	
		基本保険金額／保険料	13,000 千円	171,470円	13,000 千円	81,640円	千円	
		地震保険金額／保険料	6,500 千円	63,770円	千円		千円	
	(貴金属等以外)	評価・支払基準	新価・実損払 (罹災時再評価)		新価・実損払 (罹災時再評価)			
		評価額	7,000 千円		7,000 千円		千円	
	(貴金属等)	評価基準						
		保険金額	合計100万円まで補償		合計100万円まで補償			
		基本保険金額／保険料	7,000 千円	112,030円	7,000 千円	58,130円	千円	
地震保険金額／保険料		3,500 千円	34,340円	千円		千円		
補償内容		「○」…補償されます 「×」…補償されません						
事故の区分	火災、落雷、破裂・爆発	○	「損害の額－自己負担額※1」※2 (保険金額の2倍 (復旧費用は保険金額) を限度)		○	「損害の額－自己負担額※1」※2 (保険金額の2倍 (復旧費用は保険金額) を限度)		
	風災、雹災、雪災	○			○			
	水災	○			×			
	建物外部からの物体の落下・飛来、水濡れ、騒擾、盗難	○	自己負担額 (損害保険金に適用) なし		○	自己負担額 (損害保険金に適用) なし		
	不測かつ突発的な事故	○	(不測かつ突発的な事故は1万円)		○	(不測かつ突発的な事故は1万円)		
	地震保険	○			×			
費用の区分	地震火災費用保険金	○	保険の対象の保険金額×5%		○	保険の対象の保険金額×5%		
	凍結水道管修理費用保険金	○	実費 (限度額: 10万円)		○	実費 (限度額: 10万円)		
	臨時費用保険金	○	損害保険金×10% (限度額: 100万円または保険金額×10%のいずれか低い額)		○	損害保険金×10% (限度額: 100万円または保険金額×10%のいずれか低い額)		
補償を追加する特約等／保険料	借家人賠償責任	×			×			
	修理費用	×			×			
	個人賠償責任	×			×			
	施設賠償責任	×			×			
	携行品損害	×			×			
	類焼損害	×			×			
	家賃収入	×			×			
	事故対応等家主費用	×			×			
	事故再発防止等費用	×			×			
	I o T 住宅費用 (売電収入)	×			×			
	I o T 住宅費用 (サイバーリスク)	×			×			
	地震火災 (50㎡ ラン・30㎡ ラン)	×			×			
	営業用什器・備品等損害	×			×			
	商品・製品等損害	×			×			
その他特約・割増引		・ 築年数別割引 ・ 耐震等級 (3 級) 割引 ・ 建物・家財セット割引		・ 築年数別割引 ・ 建物・家財セット割引				
払 込 方 法		長期一括払		長期一括払				
合 計 (各 回) 保 険 料		381,610 円		139,770 円		円		
年 額 保 険 料		円		円		円		

※1 保険金をお支払いする事故が発生した場合に、被保険者が自己負担するものとして設定する金額をいいます。

※2 損害の額には、保険の対象を事故発生直前の状態に復旧するために必要な費用 (復旧費用) のほか、復旧に伴って発生する費用を含みます。建物について全損の場合は自己負担額を差し引きません。

※ 地震保険では、所定の確認資料のご提出により、建築年割引、耐震等級割引、免震建築物割引または耐震診断割引が適用される場合があります。

このお見積書は、概要を説明したものです。保険の詳細な内容は、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。